



### 3/11 地域の安全俳句で呼びかけ

#### 第3回安全・安心「家族で作る五・七・五」コンテスト

安全・安心なまちづくりを目指して高森警察署管内（南阿蘇村・高森町）で実施された「第3回安全・安心 家族で作る五・七・五」コンテストの表彰式が久木野庁舎で行われました。

コンテストには防犯部門309作品、交通部門443作品が応募され、それぞれ審査が行われました。

交通部門で最優秀賞を受賞した南阿蘇西小学校3年生（当時）の北野千夏さんは、「事故がなくなればいいなあ、と思いながらおじいちゃんを作りました」と喜びを話してくれました。



田中哲浩高森警察署長から表彰状を受け取る北野千夏さん

#### ■交通部門

##### 最優秀賞

てをあげて わたるすがたの かつこよさ

北野 千夏（南阿蘇西小）

##### 優 秀 賞

まあよかる 安易な気持ちが 事故のもと  
「少しだけ・・・」 軽い気持ちが 命とり  
安全は 気くばり目くばり ゆずりあい

小出 美保（両併二）  
井野 凧沙（長陽中）  
興裕真美子（吉田一）

##### 佳 作

信号機 青でも見よう 右、左  
ゆずり合う 心が事故を 防ぐ鍵  
「ひと口だけ」それがいかんて 言ひよるたい!!  
このぐらい・・・酔いはひと時 罪一生

長野恵美莉（長陽中）  
市原 洋子（第五駐在）  
小佐井あかね（白水中）  
田上奈緒美（白 川）

#### ■防犯部門

##### 優 秀 賞

パトロール ご近所さんの 目と心  
かえりみち 「いかのおすし」を わすれない

廣瀬エムコ（吉田三）

まあいつか 心のすき間に ひそむ罖

松尾 颯馬（久木野小）

渡邊 青空（久木野中）

##### 佳 作

騙されん 誰でも最初は そう思う  
あいさつで 地域の防犯 深めよう  
悩んだら 1人で決めず 相談を  
安心を ひとりひとりが つくる街  
待ちなっせ うまか話は なかばいた  
かぎかけた？ ぼくらとママの あいことば  
閉じまりで 気持ちも心も 引きしめて

小出 美保（両併二）  
宮崎 有沙（長陽中）  
松宮 光子（第七駐在）  
上村 慶子（中松二）  
廣瀬エムコ（吉田三）  
後藤 旭陽（両併小）  
佐々川実希（久木野中）

### 3/19 6.26水害を忘れない

#### 中松小学校紙芝居制作

中松小学校4年生（当時）13人が、授業で学んだ「6.26水害」の出来事を後世に残そうと紙芝居を制作しました。

児童たちは、昭和28年6月26日に発生した白川流域の水害で、同校区が受けた被害を学習。水害を体験された地域の人に話を聞き、紙芝居に仕上げました。

紙芝居は児童一人1枚ずつ作成。「水害から学んだ命と未来」と題され、13枚の紙芝居には当時の様子が詳しく描かれています。

制作に取り組んだ峰匡汰くんは、「水害の悲しさを自分の子どもたちにも伝えていきたい」と話してくれました。



紙芝居を制作した中松小学校4年生の児童たち

### 3/17 チーム一丸となって優勝

#### 長陽中学校野球部

3月16日から17日にかけて、豊野グラウンドで開催された「第6回読売旗争奪宇城地区少年軟式野球大会」で、長陽中学校野球部（部員17人）が見事優勝を果たしました。

大会には、県内の中学校から16チームが出場。17日の決勝戦では八代第二中学校と対戦。白熱した戦いが繰り広げられ、接戦の末3対0で勝利しました。

優勝の喜びをキャプテンの大塚翔太さんは、「決勝では相手チームが強くなかなか点が入らなかったけど、チーム一丸となって勝つことができました」と話してくれました。



ガッツポーズで優勝を喜ぶ長陽中野球部

## 3/23 一心行の大桜 昨年より早い満開

第16回南阿蘇桜さくら植木まつり開催

第16回目を迎えた「南阿蘇桜さくら植木まつり」(同運営委員会主催)が、3月23日から4月7日にかけて開催され、樹齢400年を超える大桜を一目見ようと、県内外から多くの観光客が訪れました。

23日の祭り初日は晴天に恵まれ、開会式では温泉券やランチ券入りの餅投げが行われました。会場内には、地元特産品や植木など約20店舗が立ち並びました。

今年は昨年より10日ほど早い満開。祭り会場は、大桜と菜の花の絨毯が咲き誇り、来場者からは歓喜の声が沸き上がっていました。



満開を迎え賑わう祭り会場

## 3/19 健康と笑顔に感謝

村身体障害者福祉協会交流会開催

村身体障害者福祉協会(会長 光永直保さん)の交流会が「すばーく長陽」で開催され、会員37人がグラウンド・ゴルフとペタンクを楽しみました。

交流会は、高齢化社会の中、お互いの健康を確かめ、親睦を深めることを目的に年2回開催。会場は、勢いよく球を打つ音と、参加者たちの笑い声で賑わいを見せました。

会長の光永さんは、「障がいがあっても、健康と笑顔でいられること、そしてこの場に來られることに感謝します」と笑顔で話されました。



ホールポストに狙いを定める参加者

## 3/25 相談しやすい環境作りを目指して

「消費者相談室」高森町と締結

多重債務など消費者をめぐるトラブルの相談窓口「南阿蘇消費者相談室」を開設している本村と高森町が相互の相談室を利用できるようにするための調印式が高森町林業総合センターで行われました。

現在、相談件数は減少しているものの、表面化していないのが現状。知人には知られたくないなどの理由で相談室の利用がはばかれていましたが、今回を機に、両町村の相談室利用が利用しやすくなりました。

調印式では、市原副村長が「南阿蘇村と高森町が一つになって頑張っていきたい」とあいさつしました。



草村大成高森町長(左)と市原一生副村長

## 3/23 牧場の一本桜満開

第八駐在の「観音桜」

牧場に一本、ひっそりと咲く樹齢90年の「観音桜」が、今年も満開を迎え多くの観光客が訪れました。

同桜は、平成23年に地域住民(第二部造林組合)が村の新たな観光名所にしようと周辺道路を整備。満開を迎えた26日から31日には、地元住民たちにより弁当や特産品が販売されました。

桜を訪れた観光客たちは、咲き誇る桜と、背景に広がる阿蘇五岳の美しさのため息を漏らしながら、シャッターを押す姿が多く見られました。

30日にはライトアップも行われ、暗闇に浮かび上がる観音桜は幻想的な表情を醸し出していました。



阿蘇五岳を背景に咲き誇る観音桜



### 3/26 第46回衆議院議員総選挙総務大臣表彰 村選挙管理委員会委員長 宮田義久さん（吉田三）

村選挙管理委員会委員長の宮田義久さん（吉田三）が、「第46回衆議院議員総選挙総務大臣表彰」を受賞され、その伝達式が県庁で行われました。

宮田さんは、平成5年（白水村時）から現在まで選挙管理委員会委員を歴任。今回の表彰は、今までの功績と、昨年12月16日に執行された衆議院総選挙で、避難勧告地域であった第17投票所（立野保育所）を旧立野小学校教室に変更したことや、同選挙の投票率が県内49市町村中、9番目であったことが評価されての表彰となりました。

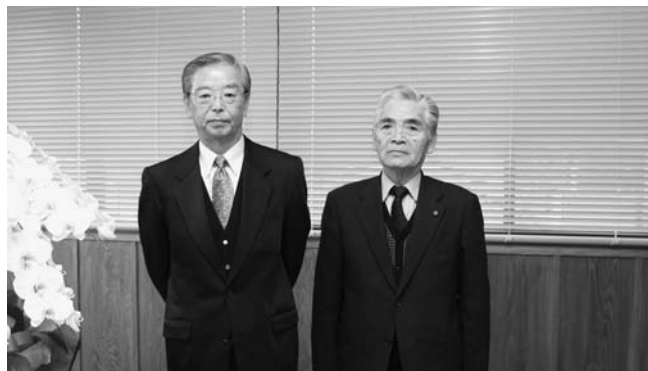


宮田義久さん（左）と県選挙管理委員会委員長の松永さん

### 3/26 村教育委員会委員に任命 森田輝昭さん（新所） 藤岡孝輔さん（第五駐在）

村教育委員会委員の辞令交付式が久木野庁舎で行われ、森田輝昭さん（新所）と藤岡孝輔さん（第五駐在）が再任。同日付けで教育委員長に森田さん、教育長に藤岡さんが就任されました。今回の就任で、森田さんは教育委員長2期目、藤岡さんは教育長3期目となりました。

就任にあたって森田さんは「南阿蘇村の教育のために力になれるよう頑張ります」とあいさつ。藤岡さんは「村の教育発展のため、そして保護者の期待に応えられるよう頑張ります」とあいさつされました。



教育委員長に就任された森田輝昭さん（左）と教育長に就任された藤岡孝輔さん（右）

### 3/29 たくさんの思い出をありがとう 子育て支援センターでお別れ会

子育て支援センター「わくわく広場」（長陽保健センター内）に通う子どもたちのお別れ会（ブルー・ビーズ主催）が同センターで開催され、子どもと保護者約60人が参加しました。

お別れ会では、子どもたちから支援センターのスタッフ4人に、メッセージが寄せられた色紙や花束が手渡され、「先生、いつも遊んでくれてありがとう。楽しかったです」とお礼の言葉を贈りました。

お別れ会が終わると、保護者手作りのカレーライスで食事が行われ、最後の楽しいひと時を過ごしました。



子育て支援センタースタッフに花束を贈る子どもたち

### 3/26 陸上部の後輩たちにエール 白水中学校陸上部にランニングシューズ贈呈

白水中学校陸上部の出身で、愛知製鋼陸上部（愛知県東海市）に所属している大塚良軌さんが母校陸上部にランニングシューズを贈呈。父の浩一さん（中松三）が中学校を訪れ、陸上部部員にランニングシューズを手渡しました。

この日贈られたのはランニングシューズ30足。大塚良軌さんは、母校陸上部の後輩たちに頑張ってほしいとの思いから愛知製鋼陸上部の仲間たちに声をかけ、使用していたシューズを譲り受けました。

シューズを受け取った部員たちは「ありがとうございました」と、うれしそうにお礼を述べました。



シューズを手渡す大塚浩一さん（左）と白水中学校陸上部の部員たち

## 3/31 春の南阿蘇を満喫

済生会熊本病院予防医療センターウォーキング大会開催

第8回済生会熊本病院予防医療センターウォーキング大会（菅守隆センター長）が開催され、同センター受診者と関係者約100人が春の南阿蘇を満喫しました。

ウォーキングは、役場久木野庁舎を午前9時に出発。湧沢津水源や小池水源を巡り、四季の森温泉をゴールとする約9.5キロメートルのコースを歩きました。

この日の南阿蘇は曇り空でしたが桜が満開。参加者たちは「桜を見ながら歩いてよかった」と、足取り軽くウォーキングを楽しんでいました。



颯爽とウォーキングを楽しむ参加者

## 3/30 桜とジビエ料理を堪能

「第3回アスペクタ桜まつり」開催

アスペクタで「第3回アスペクタ桜まつり」（アスペクタ桜まつり実行委員会主催）が3月30日から4月7日にかけて開催されました。

30日に行われたオープニングセレモニーでは、勇壮な久木野太鼓で幕が開き、「ジビエ阿蘇からの贈り物」と題したスペシャル企画が登場。これは、農作物に被害を与えるイノシシやシカを“ジビエ料理”として生まれ変わらせようと、熊本市でレストランを運営する宮本けんしんシェフが腕を振るい、三種類のメニュー（シシ鍋・カレー・ハンバーグ）が提供されました。

会場には、シシ鍋用の直径1.1m、深さ1.1mの大なべも設置。会場内には美味しそうな匂いがたちこめ、家族連れが料理を求めて列をつくり賑わいをみせました。



柄杓でシシ鍋を取り分ける祭り参加者

## 4/5 環境に配慮した観光地を目指して

村観光協会で電気自動車レンタル実証実験

県とホンダ技研工業株式会社が締結して取り組んでいる電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車利用の実証実験に伴い、電気自動車1台、プラグインハイブリッド車1台、電動カート1台が村観光協会に引き渡されました。

同事業は、昨年から取り組まれている電動バイクレンタル実証実験の一環として行われたもの。

村観光協会の武富孝道会長は、「観光客の皆さんにも電気自動車を活用していただき、村内に電気自動車を普及させていきたい」とあいさつされました。



実験車両として引き渡された電気自動車とプラグインハイブリッド車

## 4/5 たくさん遊ぼうね

村内5つの保育所で入園式

4月4日から6日にかけて、村内5つの保育所で入園式が行われました。

今春の新入園児は72人。5日に行われた長陽保育所の入園式では、古澤由美子保育所長が「保育所には滑り台やブランコがあります。皆さん楽しく通ってください」とあいさつしました。

園児たちは、担任の先生から名前を呼ばれると、元気いっぱい「はい」と返事をしました。

各保育所の新入園児は、白水保育所30人・久木野保育所21人・長陽保育所8人・立野保育所3人・長陽西部保育所10人です。



長陽保育所の園児たち



## 4/9 お兄さんお姉さんよろしくお願ひします 村内5つの小学校で入学式

村内5つの小学校で入学式が行われ、新入学児童85人が義務教育をスタートしました。

南阿蘇西小学校(日置郁郎校長)では、37人の新入学児童が在校生たちから拍手で迎えられ緊張気味に入場。

児童歓迎の言葉では、6年生の北野翼くんが「困ったことがあったら何でも聞いてください。早く皆さんの名前を覚えて一緒に掃除や遊ぶのが楽しみです」と述べました。

南阿蘇西小のほか今春の新入学児は、中松小13人・白水小11人・両併小4人・久木野小20人です。



緊張気味に入場する新入学児童たち

## 4/7 日ごろからのご利用に感謝して ウィナス開業20周年、歩行浴温泉センター開業10周年

温泉センターウィナスの開業20周年と、ウィナス敷地内にある歩行浴温泉センターの開業10周年を祝うイベントが、ウィナスで行われ、たくさんの来場者が楽しいひと時を過ごしました。

ウィナスは平成5年4月、歩行浴は平成15年4月のオープン。以来多くの皆さまに利用されています。

この日は、ウィナスロビーに設けられた特設ステージで阿蘇五岳太鼓の演奏や長野岩戸神楽の公演などが行われ、来場者にはだご汁やおにぎりが振る舞われました。



長野岩戸神楽を楽しむ来場者

## 4/12 阿蘇地域が一体となり徴収強化 税務併任徴収事務辞令交付

阿蘇郡市7市町村で行う併任徴収の辞令交付式が久木野庁舎で行われ、市原副村長から本村を除く6市町村の税務職員10人に辞令が手渡されました。

式では、市原副村長が「滞納は許されません。公平徴収の実施に向け、効果を挙げてほしい」とあいさつ。

阿蘇管内の併任徴収の取り組みは、平成22年度にスタート。今後は、7市町村の税務職員を相互に派遣し、財産の差し押さえや、換価など滞納税の徴収強化に努めます。



市原副村長から辞令を手渡される阿蘇管内の市町村税務職員

## 4/9 期待と夢に胸ふくらませ 村内3つの中学校で入学式

村内3つの中学校で入学式が行われ、88人の新入生が新たな門出を迎えました。

久木野中学校(坂梨光一校長)の入学式では21人の新入生が真新しい制服に身を包み入場。在校生たちから拍手で迎えられと少し緊張した表情を見せていました。

新入生誓いの言葉では、伊藤智那里さんが「先生や先輩方の教えをしっかりと守り、1日も早く中学校生活に慣れるように頑張ります」と堂々たる姿で誓いを述べました。

今春の新入生は、久木野中のほか白水中36人・長陽中31人です。



颯爽とした制服姿の新入学生たち